

病名

下記について同意しました(本人・家族)

診断群分類
区分名称

担当医師

担当看護師

社会医療法人 北海道循環器病院

担当薬剤師

担当管理栄養士

担当理学療法士

	手術前日 (入院日)	手術前	手術後	手術後1日目	手術後2日目 (退院日)
目 標	#経皮的冠動脈血行再建術(PCI)を受ける体制が整う 1. 経皮的冠動脈血行再建術(PCI)に対する理解が得られる 2. 不安を表出することができる 3. 併存症の悪化がない 4. 出血性素因がない		#経皮的冠動脈血行再建術(PCI)の合併症がない 1. 胸部症状、バイタルサインの変化など急性閉塞の徴候がない 2. 穿刺部の出血がない 3. 末梢循環不全がない 4. 腰痛がない		#結果と今後の注意点が理解できる 1. 病状が理解できる 2. 生活の留意点が理解できる 3. 心臓リハビリテーションの意義が理解できる
処 置	・身長体重、体温、血圧、脈拍を測定します。 ・検査のときカテーテルを挿入する場所の体毛をカットします。(必要時)	・手術の1時間前に腕に点滴の管を入れ点滴をします。 ・紙パンツもしくは局所カバーで陰部を覆います。 ・検査室へ行く前に体温、血圧、脈拍を測定します。	・病室へ戻ってすぐ、体温、血圧、脈拍を測定します。 ・1時間後、3時間後、圧迫用ベルトを外す時にも測定します。 ・24時間モニター心電計をつけます。 ・治療後1時間は酸素吸入を行います。 ・下肢または上肢に入っている管を抜きます。 ・管を抜いた部分から出血がないか確認します。 ・管を抜いて、5時間後に圧迫用のベルトを外します。 ・末梢循環不全・塞栓症徴候がないか確認します。 ・安静中は日常生活を介助します。	・体温、血圧、脈拍を測定します。 ・24時間モニター心電計をはずしません。 ・点滴終了後、針を抜きます。	・体温、血圧、脈拍を測定します。 ・カテーテルを挿入した部分を確認します。
薬	・中止する薬があるかどうか確認します。	・中止薬がある場合、内服していないか確認します。	・手術後、医師の指示により薬が開始になる事があります。		
検 査	・血液検査を行います。		・心電図をとります。	・朝、血液検査を行います。 ・心電図をとります。	・退院後、初回外来受診時に胸のレントゲン写真、心電図、血液検査を行います。 ・退院時に検便の容器を渡しますので、初回外来受診時に提出してください。
食 事 飲 水	・食事は心臓高血圧食となっています。 ・一週間以内に管理栄養士が栄養指導に参ります。 特別な栄養管理の必要性がある場合、栄養管理計画に基づいた管理を行います。	・手術前は食事は摂れません。(朝・昼)	・検査後のお食事は寝たまま食べられるお弁当をお出しします。 ・1時間後より飲食ができます。	・手術前の食事に戻ります。	
活 動	・制限はありません。	・手術までは制限はありません。	・手術後の安静 足からの場合：管を抜いてから圧迫帯をし5時間は寝たままです。以後はトイレ、洗面のみ歩行できます。 腕からの場合：帰室後1時間はベッド上安静です。以後はトイレ、洗面のみ歩行できます。 手首の場合：帰室1時間後から歩行できます。	・手術前と同様に戻ります。	
清 潔	・(体毛をカットしたあと)シャワーができます。		・圧迫用ベルトをとった後、タオルで体を拭きます。	・シャワー・入浴はできません。 ・タオルで体をお拭きします。	・シャワーができます。
説 明 指 導	・検査同意書・造影剤検査同意書の提出をお願いします。 ・薬剤師より薬について、管理栄養士より食生活についてそれぞれ説明します。			・看護師が退院後の生活について説明します。 ・退院後初回外来受診時の検査について説明します。 ・医師より今回の検査結果と今後の心臓リハビリテーションについて説明します。 ・心臓いきいき教室への参加予約をしましょう。	

※状況に応じて、予定が変更になる場合があります。ご不明な点がございましたら、ご遠慮せずお尋ねください。

平成29年6月23日改訂